

民主島根

2022年
2.27
第1401号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

参院選勝利へ中国5県いっせいで宣伝 にひ前参院議員ら比例5議席必勝を

尾村・大國県議、田中、舟木、橘の各市議が訴え

中国5県の日本共産党は18日、地方議員を先頭にいっせいで宣伝に取り組みました。松江市では、日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議、田中肇、舟木健治、橘ふみ各市議らが宣伝しました。

尾村県議は、新型コロナウイルス第6波で県内の医療現場や保健所体制が逼迫したことに触れ、県民の命と健康を守るためには、①PCR検査など大規模検査体制の確立②保健所体制の抜本的強化③医療提供体制の充実④の3点セットでの拡充が求められていると強調。

上定昭仁市長が15日、島根原発2号機の再稼働同意を表明したことについて、島根地域全体の避難計画である緊急時対応（昨年7月30日、内閣府・原子力防災会議



宣伝する（右から）岩田剛東部地区委員長、大國、尾村の両県議、橘、舟木、田中の各市議（松江市）



抗議宣伝を行う（左から）舟木、たちばな、田中の各市議、尾村、大國の両県議（松江市）

島根原発2号機再稼働に同意 市議団、尾村県議らが抗議宣伝

島根原発2号機について、松江市の上定昭仁市長は15日、再稼働に同意すると表明しました。

「どうする島根原発？ みんなで決める松江の会」が直接請求を行った2号機の再稼働の是非を問う住民投票条例は、同日開かれた臨時市議会でも、賛成少数で否決されました。

日本共産党の、たちばなふみ市議が賛成討論に立ち、「市長と市議会にすべて任せるのではなく、

推進で新たな雇用と産業を創出することだ」と力を込め、夏の参院選で「原発ゼロ」を主張している日本共産党を伸ばしてほしいと呼びかけました。

尾村利成県議は「市政大規模検査の実施を」

大規模検査の実施を 大西・亀谷市議、宮脇市議らが要望

日本共産党大田市議団は7日、コロナ対策の拡充を求めて市へ申し入れを行いました。大西修、亀谷ゆう子の両市議、宮脇やするう党市副委員長、福田佳代子元市議が参加し、楫野弘和市長、飯田徹政策企画部長が応じました。

申し入れでは、▽3回目のワクチン接種を最大限迅速に行う▽県の無症状の市民などを対象とした「PCR等検査無料化事業」の実施箇所数の拡大と検査を受けることが感染拡大防止につながることを積極的に広報する▽PCR検査を医療機関や福祉施設、学校などで

の主人公は市民。多くの市民は原発稼働に反対している。市民の願いに反する再稼働同意撤回を求める」と力を込めました。

大西市議は「小中学校が休校になるなど今までにない状況となり、市民の不安も高まっている。飲食業や観光業にとどまらず、幅広い業種で減収になるなど影響が出ている。生活と営業を支えるための補償を行ってほしい」と強調しました。

楫野市長は「市としても必要なことはやっています」と答えました。

日本共産党演説会

4月10日(日) 14:00~ 松江テルサホール

弁士
党書記局長(参院議員)
小池 晃



前参院議員(弁護士)
にひ そうへい

コロナ対策を実施して開催しますのでぜひご参加ください。コロナ感染状況によっては、オンラインでの開催に変更する場合があります。主催：日本共産党島根県委員会

鼓動

「文学」を愛する者として看過できないニュースがある。今春改定される高校国語の学習指導要領における「文学」排除の流れである。改定では「現代文」が「論理国語」と「文学国語」とに分けられ選択制になるといわれている。つまり高校時代に「文学」を学べない生徒が出かねないということだ。

▼これまで「現代文」は、詩歌などを含め様々なジャンルの文章を扱ってきた。それをこのように区分し、選択させる意義はどこにあるのか。実際、多くの専門家や現場から改定に反対する声が上がっている▼そもそも「文学」は「論理」と対立するのかもしれない。確かに「文学」には比喩や修飾語と共有する美文が多く、「論理」という語とは対極のイメージを想起させるかもしれない。しかし「文学」が描く人間の心理や社会のあり方を読み解く際に、論理的思考が働かないと言えらるだろうか▼高校国語の文学の定番である『こころ』などは、論理的に思考しながら「先生」と「K」の心理に肉薄する最たるものだ。また、読んだ時点では理解しえずとも人生を歩む中で腑に落ちるし、その描写が自分自身の実感や体験そのものになり得るといふ魅力が「文学」にはある▼『智恵子抄』の一節「昔山巔でしたような深呼吸を一つしてあなたの機関はそれなり止まった」は、出会ってから遙か後、いまわの際の祖父の枕辺での自身の体験となった『雪国』の冒頭「夜の底が白くなった」は、雪の夜を知ってこそ実感できた「文学」でしか出会えない言葉がある。その蓄積が見える世界を豊かにする。「文学」か「論理」かの問いは愚問である。(江)